

CASBEE神戸ver.2 松原営業所		欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.2 ■評価ソフト: CASBEE神戸ver.2 / CASBEE-BD_1		
スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.35</b>			<b>2.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	-	-	2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.6</b>	0.35	-	-	1.6
2.1 室温制御		2.2	0.50	-	-	
1 室温		3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性		1.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.3</b>	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-	
1 昼光率	昼光率4.44	5.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口		-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	-	-	3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質	内装材(壁、床、天井)のF☆☆☆☆の採用	4.0	1.00	3.0	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.3	0.30	-	-	
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能	自然換気比率(工場)1/4.9 (事務所)1/16.2	4.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.5</b>	0.40	-	-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性	11.64㎡/人	4.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	-	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観	事務室関係の天井高さ2.7m	4.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース	食堂や男女それぞれの休憩室を設けている。自動販売機も設置予	5.0	0.33	-	-	
3 内装計画		1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した設計として標準以上である	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	清掃・メンテに必要な部屋・設備機器を標準以上に設けている。	4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.3</b>	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震		3.8	0.50	-	-	
1 耐震性	保有耐力時の用途係数を1.25倍で設定している。	4.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水B、排水B、給湯C。	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			2.6	0.20	-	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	-
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性			3.1	0.30	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	-
1	階高のゆとり	最低階高さ3.9mを確保。	5.0	0.60	3.0	-	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:約0.2	4.0	0.40	3.0	-	-
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.30	3.0	-	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	-
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.35	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI <sub>m</sub> =0.79	4.0	0.11	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI <sub>m</sub> 非住宅 0.71 住宅(専有部) -	4.0	0.56	-	-	4.0
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	4.0	1.00	-	-	-
		集合住宅の評価(3c)	-	-	-	-	-
4 効率的運用			3.0	0.22	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価	3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
		集合住宅の評価	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマ・節水型便器・人感センサー洗浄(小便器)を採用した。	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1		雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	-
2		雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメント(基礎・地中梁)	5.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		グリーン調達適合品(タイルカーペット)	3.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上りが容易に分別可。躯体も鉄骨であるため容易に分解	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.20	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない塗り床材等を採用した。	5.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	-
1		消火剤	-	-	-	-	-
2		発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-	-	-
3		冷媒	3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が一般的な建物に対して50%以下	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止		ガス又はばいじんの濃度が現行の排出基準より大幅に抑えられている	4.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
1		雨水排水負荷低減	-	-	-	-	-
2		汚水処理負荷抑制	3.0	0.33	-	-	-
3		交通負荷抑制	5.0	0.33	-	-	-
4		廃棄物処理負荷抑制	1.0	0.33	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1		騒音	3.0	0.50	-	-	-
2		振動	3.0	0.50	-	-	-
3		悪臭	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1		風害の抑制	3.0	0.70	-	-	-
2		砂塵の抑制	3.0	-	-	-	-
3		日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70	-	-	-
2		昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	-